

## JICA 研修員が能登の特色ある地域づくりと 震災復興の取り組みを学ぶ

—商工業・文化・観光を通じて持続可能な地域の未来を考える—

国際協力機構北陸センター（JICA 北陸）では、「能登地方の特色と復興を通じた地域づくり」と題した地域理解プログラムを、2026年3月6日～3月8日の日程で実施します。地域理解プログラムは、日本各地の開発事例を題材とし、地域づくりや開発の成功例、課題を取り上げ、講義・視察などを通じて、日本の開発経験について理解を深めることを目的に、JICA 研修員を対象に実施しています。

本プログラムでは、能登地方の特色に焦点を当て、商工業・地域文化・観光など多様な視点からこれまでの歩みや取り組みを学ぶとともに、震災後の復興過程における持続可能な地域づくりの実践について理解を深めます。ぜひ取材していただけますと幸いです。なお、当日は逐次通訳（日本語⇄英語）が入ります。

### 【取材可能日】

日付	時間	研修場所	内容
3/6	11:30 ～ 14:30	春蘭の里 こぶし館	視察：昔ながらの農家民宿にて、輪島塗漆器を使った伝統料理について学ぶ。
	15:00 ～ 16:30	輪島キリモト	視察：破損した輪島塗を生まれ変わらせ（REBORN）、別の形で未来へつなぐ活動について学ぶ。
3/7	10:00 ～ 16:00	Reboot ※移動しながらの視察となるため、詳細	視察：reboot 珠洲が実施する復興支援ガイドツアーにて、隆起海岸や揚げ浜式製塩工場を視察する。地震の影響で地形が変化した様子や古くから続く伝統製法を学ぶ。また、宝立町、飯田

		についてはお問い合わせください	港周辺にて、震災跡地を視察する。さらには、珠洲焼の工房を視察し、震災後の取り組みについて学ぶ。
3/8	9:30 ～ 15:00	金沢大学能登里山里海未来創造センター 輪島サテライト	視察・講義：災害復興における学生ボランティアの支援について学ぶ。また、学生との意見交換を通して、本プログラムの学びを深める。

<b>【本件に関する問い合わせ先】</b>
(独) 国際協力機構北陸センター (JICA 北陸) 武本 馨 TEL 076-233-5931 e-mail: jicahric@jica.go.jp